

イチオン！ 遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」を紹介します。

遠隔教育に関する国や県の方針では、遠隔教育システムを効果的に活用し、教育の機会均等や児童生徒の学習機会を確保し、平常時から非常時に備えることが求められています。また、高等学校では令和6年4月から同時双方向型遠隔授業を導入し、最大 36 単位まで単位修得が可能とする旨がまとめられています。

このような中で、本県の令和6年度の全国学力学習状況調査「児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、希望する不登校児童に対する授業配信でどの程度活用していますか」の質問項目に対して、本県の小学校で活用していないと回答した割合は、19.3%で全国平均よりも 2.1 ポイント上回っています。

中学校で活用していないと回答した割合は、23.1%で全国平均よりも 0.2 ポイント上回り、学校によって全く活用していない実態がうかがえます。

教員の遠隔教育に対する期待感が高いものの、実施に向けて研修が必要であると感じていることから、令和6年度総合教育センター「教育の情報化研究グループ」では同時双方向型遠隔授業の推進を支援する研究に取り組みました。

この研究では、教員が遠隔授業の必要性を理解し、必要なときに同時双方向型遠隔授業ができることを目指し、新たな教材「えんかくいろは」を作成しました。「えんかくいろは」は、「えんかく事典」と「研修いろは」の2つのコンテンツで構成されています。

「えんかく事典」の特長は2点

- その1 短くてわかりやすい動画集
- その2 教員だけでなく、児童生徒や保護者も視聴可能な内容

「研修いろは」の特長は3点

- その1 スモールステップで学びやすい研修プログラム。校内研修はもちろん、個人でも進めることが可能
- その2 気軽に楽しく取り組むことができる研修会の内容
- その3 研修会担当者の準備をする負担が少ない研修会



なぜ今、遠隔授業なの？

国や県では、**教育の機会均等**や、**平常時から非常時を想定した備え**として、遠隔授業を推進しているぞ！
しかも、令和6年4月からは、遠隔授業で**高等学校などの単位修得も可能**になったぞ！
だが、宮城県で遠隔授業を経験した先生は約半数にとどまり、さらに同時双方向型に限ると、わずか**19.7%**だったのだ！そこで、この同時双方向型遠隔授業を推進するのが、「えんかくいろは」なのじゃ！

遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」で学ぼう！

えんかく事典

えんかく事典とは...?

遠隔授業で使える「**なるほど!**」の**知識や技術**がいっぱいの動画集！
遠隔授業で**頼りになる**便利な事典だよ！

えんかく事典の特徴

- 1 短時間で分かりやすい豊富な動画集！
- 2 見たい動画がすぐに見つかる！
- 3 みんなが視聴できる児童生徒目標の動画

研修いろは

研修いろはとは...?

遠隔授業で起こり得る出来事を**体験**することができる研修セット！
普段から**万が一にも備えることができる**わ！

研修いろはの特徴

- 1 スモールステップで学びやすい！
- 2 短時間で 気軽に 楽しい 研修会！
- 3 先生方の負担が 少ない研修会！

参加された先生方の声

動画は、**すっきりと分かりやすく**、**小学校低学年でも理解**できそう

この研修を受けて、**遠隔授業で困ってても対応**できそう

実際に児童生徒に**見せて使い方を教員と共有**できそう

教員研修会アンケート

遠隔授業の**必要性**を理解できた！ ▶ **100%**
遠隔授業の**必要な知識や技術**を知る**ことができた**！ ▶ **100%**

「えんかくいろは」で、いつでも遠隔授業をスタートできる！

「えんかくいろは」のホームページはこちら



「えんかくいろは」のホームページは
←こちらから

先生方の教える力を1人1台端末の活用でパワーアップ!

先生方が勤務されている学校では、1人1台端末環境をどのような教育活動で活用していますか。「毎日の授業で使っているよ」、「校外学習での記録やまとめの作成、発表の場面で使っているよ」、「実は活用する場面はあまり多くないかな」といった声が聞こえてきそうです。

本県の令和6年度の全国学力学習状況調査「児童(生徒)が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか」の質問項目に対して、**本県の小学校で月1回未満と回答した割合は、4.3%**で全国平均を0.1ポイント上回っています。

中学校で月1回未満と回答した割合は、9.1%で全国平均を1.1ポイント上回り、1人1台端末の活用に関して、まだまだ改善の余地があることが読み取れます。

そこで今号では、総合教育センターの令和元年度の長期研修で作成した教材「**タブレット端末活用研修パック +タブレ 2.0**」を紹介します。この教材の特長は2点あります。

1 点目は、研修内容のステップ1と2は、GIGAスクール構想や協働学習、個別学習といったキーワードで研修内容が項立てされており、ICT活用の基礎・基本について、校内研修はもちろん個人で必要な内容を選択して研修することができます。

2 点目は、研修パックを校内研修のプログラムに組み入れることで、1人1台端末の利活用の促進や児童生徒の主体的な学びを展開していくための授業改善に向けた取組を進めていく研修に活用できます。

協働学習・個別学習におけるICT活用の推進
～タブレット端末活用研修パック「+タブレ2.0」の作成と活用の提言を通して～

使わないのはもったいない。

「+タブレ2.0」で、研修すれば
児童生徒のタブレット活用が**できるようになる。**

MIYAGI Style Ver.2.3

96.9%の先生が児童生徒がタブレット端末を活用した授業がイメージできると実感!(研究協力校アンケートより)

こんな先生を応援!

「+タブレ2.0」は、児童生徒がタブレット端末を活用する協働学習・個別学習について「イメージして」「体験して」「できるようになる」ための研修パックです。教師がタブレット端末を活用する一斉学習からステップアップして「児童生徒がタブレット端末を活用する授業がしたい」「校内研修会を開きたい」という先生方を応援します。

「+タブレ2.0」なら3ステップで活用できるようになる!



こんな研修ができる

- ✓ICTの整備状況や活用状況に合わせた研修を構成することができます!
- ✓最短構成の研修ならステップ2(20分)だけでも研修することができます!
- ✓研修用動画と研修会資料の活用で個人でも研修することができます!

受講者の声

受講者の声

受講者の声

受講者の声

受講者の声

受講者の声

動画でタブレット端末の活用方法がイメージできた。

実際に体験することで活用方法が理解できた。

動画と資料を活用することで研修会を負担なくできた。

宮城県総合教育センター
令和元年度 情報教育グループ
<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/jouhou/plusab2/>

これを見て興味を持ったら
初めてのタブレット端末活用は

+タブレ2.0
+タブレ

公開中

公開中



「タブレット端末活用
研修パック
+タブレ 2.0」
のホームページは
←こちらから

「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」(令和7年3月)が公表されました。

令和元年度以降、GIGA スクール構想に基づく1人1台端末の整備、クラウドサービスの本格活用が進み、一人一人の多様なニーズや特性等に対応した個別最適な学びと協働的な学びを充実させることができるようになりました。教育DXが進展する中で、教育委員会及び学校に必要とされるセキュリティ対策は高度化し、ますます重要度を増しています。教育現場における情報セキュリティは、教職員等の存在はもちろんのこと、児童生徒・保護者の存在、取り扱う情報の多様性・多目的性、教育クラウドの活用など教育現場ならではの特徴を考慮することが求められています。ぜひ、各教育委員会が策定している規程を確認するとともに、この「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を職員会議等で話題にして教職員のみならずで情報セキュリティの意識を高めていきましょう。

(編集後記) 新学期がスタートし、各校では児童生徒の明るく元気な声が聞こえ、活気に満ちあふれているのではないのでしょうか。センターでも今年度の研修が始まりました。情報教育班では、研修会に加え、MナビTVやMナビ新聞で先生方の力になる情報を発信していきます。各校でご活用ください。
[担当:大泉]

